

令和6年

秋の火災予防運動実施要綱



実施期間 令和6年10月15日(火)～令和6年10月31日(木)

<17日間>



北見地区消防組合が実施する事項



(1) 運動の周知として

ア. 車両による巡回広報 消防署・出張所・支署・消防団	期間中実施
イ. 報道機関及び消防関係団体に対する協力要請	期間中実施
ウ. 実施要綱、ポスター、チラシ等の配付啓発	期間中実施
エ. サイレン吹鳴	期間中実施

(2) 特別行事等

☆ 消防本部	
・防災管理研修会	10月25日(金)
・社会福祉施設実務研修会	10月30日(水)
・ハロウィン防火教室	期間中実施
☆ 北見消防署・出張所	
・ミニ消防車展示による火災予防啓発	期間中実施
・住宅用防災機器のPR	期間中実施
☆ 端野支署	
・防火啓発パン作り	期間中実施
☆ 常呂支署	
・防火パレード	10月16日(水)
☆ 留辺蘂支署	
・消防車両による火災予防パレード	10月15日(火)
・防管協・危安協合同火災予防パークゴルフ大会	10月20日(日)
☆ 置戸支署	
・どんぐり幼年消防クラブ防火展(置戸町立図書館)	期間中実施
・火災予防ハロウィン祭	期間中実施
☆ 訓子府支署	
・消防団車両による火災予防パレード	10月15日(火)
・わくわく幼年消防クラブ防火パレード	10月15日(火)
・火災予防ミニポスター配布	10月15日(火)
・小規模事業所合同消防訓練	10月15日(火)

(3) 消防査察による防火指導

ア. 単身高齢者宅防火診断	期間中実施
イ. 町内防火診断	期間中実施

全国統一防火標語
守りたい 未来があるから 火の用心

組合内統一防火標語
消しました? 確かめ合いの ひとことを



北見地区消防組合公式ホームページ

<https://www.city.kitami.hokkaido.jp>

詳しい情報は
こちらから!



《 実 施 機 関 》

北見地区消防組合消防本部 ・ 消防署 ・ 出張所 ・ 支署

北見消防団 ・ 端野消防団 ・ 常呂消防団 ・ 留辺蘂消防団 ・ 置戸消防団 ・ 訓子府消防団

《 消 防 関 係 団 体 》

北見地区幼年少年女性防火委員会 ・ 北見市防火協会 ・ 北見地区危険物安全協会 ・ 北見地区防火管理協議会北見地区
消防設備安全協会 ・ 置戸町防火推進連絡協議会 ・ 留辺蘂町防火管理者連絡協議会



火災予防の相談はお気軽に

消 防 本 部	0 9 0 - 0 0 6 5	北見市寿町2丁目1番28号	TEL 25-1521
消 防 署	0 9 0 - 0 0 6 5	北見市寿町2丁目1番28号	TEL 25-1525
西 出 張 所	0 9 0 - 0 8 3 7	北見市中央三輪7丁目446番地58	TEL 36-2410
東 出 張 所	0 9 0 - 0 8 0 1	北見市春光町3丁目10番6号	TEL 24-6324
南 出 張 所	0 9 0 - 0 8 2 3	北見市広明町210番地3	TEL 22-5119
端 野 支 署	0 9 9 - 2 1 0 2	北見市端野町二区469番地1	TEL 56-2155
常 呂 支 署	0 9 3 - 0 2 1 0	北見市常呂町字常呂558番地	TEL 0152-54-2630
留 辺 蘂 支 署	0 9 1 - 0 0 2 6	北見市留辺蘂町旭公園99番地18	TEL 42-2049
置 戸 支 署	0 9 9 - 1 1 0 0	置戸町字置戸192番地	TEL 52-3103
訓 子 府 支 署	0 9 9 - 1 4 0 3	訓子府町東幸町5番地	TEL 47-2419

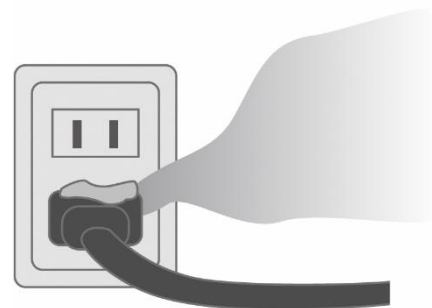
電気火災に気をつけましょう

これからの季節は寒くなり、ストーブやこたつなどの電化製品を使用する機会が増えていきます。使用する際のポイントに注意し、電気火災を予防しましょう。

主な電気火災の原因

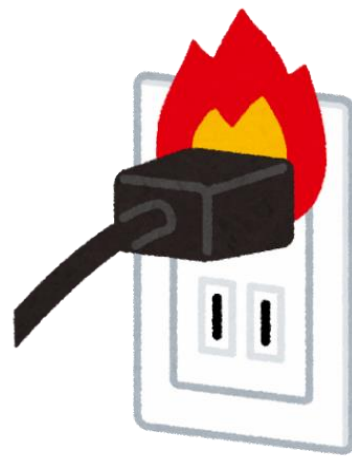
トラッキング

コンセントに電源プラグを差しっぱなしの状態では放置していると、隙間にほこりやごみが溜まりそこに湿気が加わると小さな電流が流れ発熱します。発熱が繰り返されると電源プラグの間でショートし、出火してしまう可能性があります。トラッキングは電化製品を使用していなくても電源プラグが差さっているだけで発生する可能性があります。



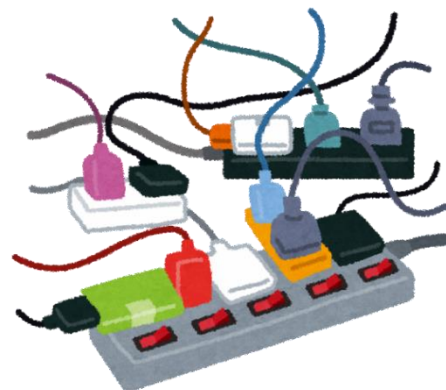
接触部過熱

コンセントへの差し込みが不十分な電源プラグのぐらつきや差し込み口の緩み、電源プラグの変形などがあると接触部の電気抵抗が増大してジュール熱というものが発生し、出火してしまう可能性があります。



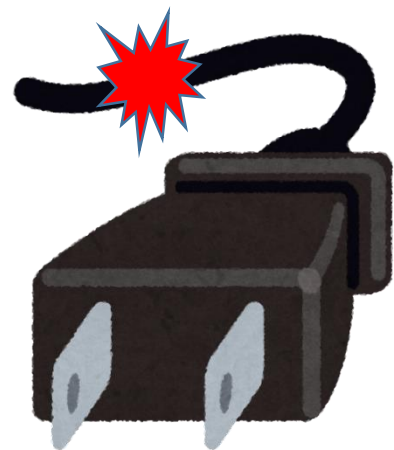
過電流

コンセントや延長コードには定格容量というものが決まっています。たこ足配線などで多くの電化製品を使用し続けると、容量を超えた電流が流れて発熱し、出火してしまう可能性があります。



半断線

電化製品のコードを家具等で踏みつけたり、無理に引っ張ったり、束ねて使用したりするとコード内部のヨリ線が断線する可能性があります。断線することで電流の通り道が少なくなり、そこに同じ量の電流が流れようとするため大きく発熱し、出火してしまう可能性があります。



電気火災を防ぐポイント

- ① たこ足配線をしない
- ② 使わない電化製品のプラグはコンセントに差しっぱなしにせず抜いておく
- ③ プラグを差すときはしっかり差し込む
- ④ コードを束ねて使用しない、引っ張ったり踏みつけたりしない
- ⑤ 傷んだコード、古いコードは新しいものに交換する
- ⑥ 電化製品を使用する際は、説明書をよく読み正しく使用する

電気火災は普段気づかないところで発生しやすく、いつの間にか燃え広がってしまう可能性があります。

ポイントを読んで身の周りを再確認し電気火災を予防しましょう

お問い合わせ先

北見地区消防組合消防本部

<https://www.city.kitami.hokkaido.jp>

詳しい情報は
こちらから!

